

〔株〕サーフェス作品展
「塗り」が彩る「表面」



〔株〕サーフェス ● 〒933 富山県高岡市二塚322-5
高岡テクノドーム ☎0766-21-8181

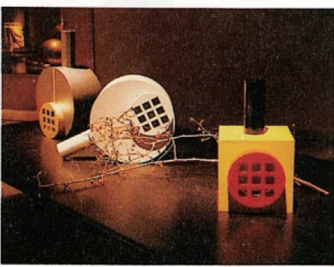
国や県が補助し指導する事業は数あるが、補助期間が終っても、それが事業として定着することは滅多にないという。ところが国と富山県が推進した「事業転換補助事業」をきっかけに新会社がひとつ誕生した。〔株〕サーフェスである。同社はテキスタイルデザイナーの粟辻博さんを相談役に招き、「形」にこるのではなく、表面を「塗り」で彩るために技術提供をする。設立は昨年3月（47号64頁）。このサーフェスの作品展が開かれた（12月11日〜12日・東京六本木アークシスギャラリー）。一年前にも同様の展不会を開いている。その時は「補助期間」最後の成果発表だったが、今回は企業として出発した第一歩の展で、60数枚の塗りを施した板が展示された。今までにない色の美しいものもあり、目をひいた。

色鮮やかな不思議世界
カナイヒロミの最新作

色鮮やかなサテン生地で袋を縫い、その中に綿を詰め、電子部品やガラス、羽毛など多種多様な廃品を接着する。「おフトンアート」の愛称で知られるカナイヒロミさんの最新作約40点を集めた展覧会が開かれた（12月26日〜1月12日 東京・三子玉川アレーナホール）。今回は柄織のタイシルクを使っ

金箔銀箔ちりばめた絢爛たるスピーカー
唐澤誠さんが和風のデザインに挑戦

唐澤誠さんは建築の音響設計をしている。その彼がデザインした和風スピーカーを集めた初めての個展が



12月3日〜12月6日 東京・銀座ソニービル
今年はニューヨークにも巡回する予定

たり、ジャケットの形をした着られるオブジェ写真を発表したりと、またひと味違う作品が楽しめた。



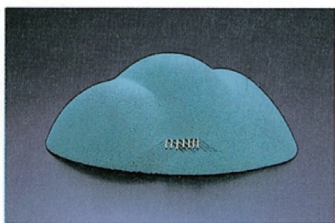
〔株〕応用工学研究所 ● ☎03-3595-3588

開かれた。加賀友禪をはった鼓型スピーカー、カシュー塗りに金箔銀箔を施したものなど、日本古来の美しさを生かした作品35点が並んだ。もちろん音色も折紙つき。あちこちに置かれたスピーカーから24秒間ずつ音楽が流れ、遠く近くから音が押しよせてくる。音が空間に奥行きを与え、会場が何倍にも広く感じられた。

山村慎哉 漆・ワーク
踊る漆、寝ころぶ漆

どこかひょうきんで思わず手に取りたくなる。そんな漆のオブジェ52点を並べて、山村慎哉さんが絵画の上杉一道さんと2人展を開いた（12月18日〜24日 群馬県民会館）。

山村さんは昭和35年生れ。若き漆芸家である。螺鈿沈金蒔絵といった伝統の技法を駆使しながら、その形は自由である。石や金属と組合せて存分に自分らしさを表現している。切分けた西瓜あり、てんとう虫あり。踊っているようにも寝ているようにも見えるこれらオブジェとは別に、3月の個展では使える小物も発表する予定である。



▲ 桂、乾漆粉、真鍮顔料
130×70×80mm
◀ 米松、金箔、真鍮
70×50×250mm

